# 進行する動作緩慢と歩行障害　 68歳女性　書籍922頁参照

|  |
| --- |
| 現病歴：4年前から動きの鈍さが出現した．ふるえはないがシャツのボタンがかけにくくなり，得意であった習字が下手になった．歩行開始時に最初の1歩が出にくく，猫背で，ちょこちょことした歩き方で転びやすくなった．便秘や頻尿，立ちくらみはなく，物忘れや幻視はない．  既往歴：特記すべきことなし．  生活歴：喫煙歴なし，飲酒歴は機会飲酒．  家族歴：特記すべきことなし．  身体所見：身長160 cm，体重57 kg，体温36.2℃，脈拍80回/分，血圧98/66 mmHg，呼吸数18回/分．意識は清明で高次機能障害はない．仮面様顔貌で Myerson 徴候は陽性である．脳神経に異常はない．話し声は小声である．上下肢のBarré徴候は両側陰性で，指鼻試験・膝踵試験も両側で陰性．安静時振戦はなく，やや右優位だが両側性の歯車様筋強剛を認める．Romberg 徴候は陰性．Mann肢位（両足を縦一直線に置く起立平衡試験の姿勢）の保持は開眼でもできない．片足立ちは左右とも数秒程度である．深部反射は正常で，病的反射はみられない．歩きはスタンスの狭い小刻み歩行で，すり足，すくみ足もある．突進現象はない．pull テストは陽性である．感覚障害はなく，Schellongテストは陰性． |

## ■診断の進め方

### 特に見逃してはいけない疾患（考えられる疾患をできるだけ挙げる）

ここに記入

### 頻度の高い疾患（考えられる疾患をできるだけ挙げる）

ここに記入

## ■この時点で何を考えるか？医療面接と身体診察を総合して考える点 （可能性の高い疾患とその理由、除外診断とその理由などを挙げる）

ここに記入

### 診断仮説（仮の診断）（可能性が高いと考えられる疾患を挙げる）

ここに記入

## ■必要なスクリーニング検査（診断を絞り込むために必要な検査を挙げる）

ここに記入

## ■検査結果

|  |
| --- |
| 頭部MRI：特記すべき異常所見なし． |

### 診断仮説（仮の診断）（可能性が高いと考えられる疾患を挙げる）

ここに記入

## ■診断確定のために（必要な追加検査などを挙げる）

ここに記入

### 診断（診断結果を記入）

ここに記入

## ■治療の基本方針（診断を受けて必要な治療を挙げる）

ここに記入